

# 戸田市 施策評価シート

作成日	令和 2年 6月25日	作成者名	早川 昌彦	評価者名	小森 敏
-----	-------------	------	-------	------	------

## 1. 施策の位置づけ <PLAN>

基本目標	05 快適で過ごしやすいまち	中心となる課	都市整備部・まちづくり推進課
分野	02 市街地整備	関係課	
施策	49 新曽中央地区の整備		
施策の目的	新曽中央地区については、地域の特性を活かしつつ、地区住民が安心して住みやすく、仕事にも便利で活気のあるまちとなるよう、良好な住環境や基盤整備の充実に努めます。		

## 2. 施策の主な取り組み <DO>

取り組み①	新曽中央地区都市整備事業
取り組み②	
取り組み③	
取り組み④	
取り組み⑤	
その他の取り組み	
その他の取り組み	

## 3. 施策の指標における成果（主な指標）<CHECK>

指標名	指標の説明 (算定式)	単位	目標値	達成値					
				H27	H28	H29	H30	R1	R2
事業進捗率	都市基盤整備の計画整備面積に対する (都市基盤整備面積÷計画整備面積)	%	4.8	3.1	3.1	3.7	3.7	4.8	
地区計画区域内行為届出における適合率	地区計画の内容に適合した割合 (適合件数÷届出件数)	%	100	100	100	100	100	100	
その他施策の取組事項に係る成果									

## 4. 施策の展開 <ACTION>

課題	新曽中央地区の都市基盤整備を効率的かつ効果的に進めていくため、平成27年度に策定した整備方針に基づき、優先度に応じた整備を進めていく必要がある。 また、用地測量を実施していない地区があるため、今後の道路拡幅整備を進めていくにあたり残りの用地測量を進めていく必要がある。	対応策	地域住民等の理解、協力を得ながら、道路拡幅整備を実施するための用地測量業務を進めていく。 また、公園・広場が不足する地域においては、市が保有する事業用地の活用等を含め、同地区の整備方針に基づく効果的な事業推進を図っていく。
----	---	-----	--

## ○結果と今後の方向性（シート作成次長記入）

進捗状況 (A 躍進中、B 予定通り、C 遅れ気味)	説明 (総評)	都市基盤整備については、令和元年度に新曽青少年の広場を整備し事業進捗率は達成した。 また、地区計画の届出については、適切な指導により、全ての届出に対し適合させることができた。
<b>B</b>		
今後の方向性（人員/予算） (↑増加、→維持、↓削減)	説明 (人員/予算)	本地区の住環境の向上を図るため、継続して地区計画等を運用すると共に、整備優先度の高い道路や公園・広場から計画的に整備を進めていく。今後は用地取得、物件補償、設計・施工等を効率的に進めていくため人員、予算については現状維持とする。
<b>→</b>		

## (評価者コメント)

本地区の住環境の向上を図るため、地区住民等の合意形成を図りながら、財政状況を考慮した上で整備方針に基づいた効果的、効率的な道路、公園・広場の整備を進める必要がある。
--

